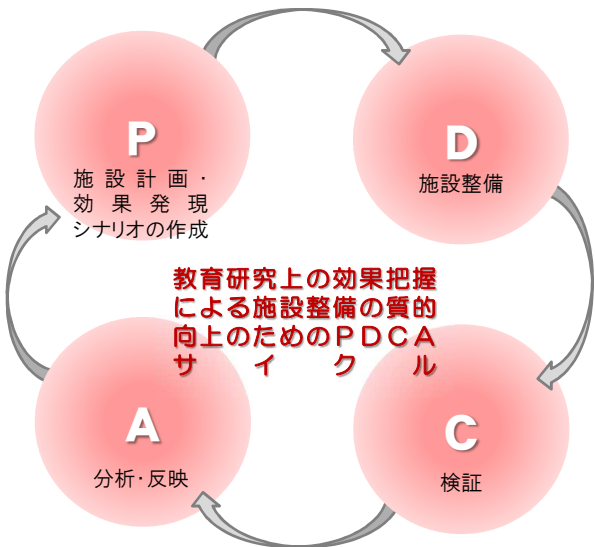
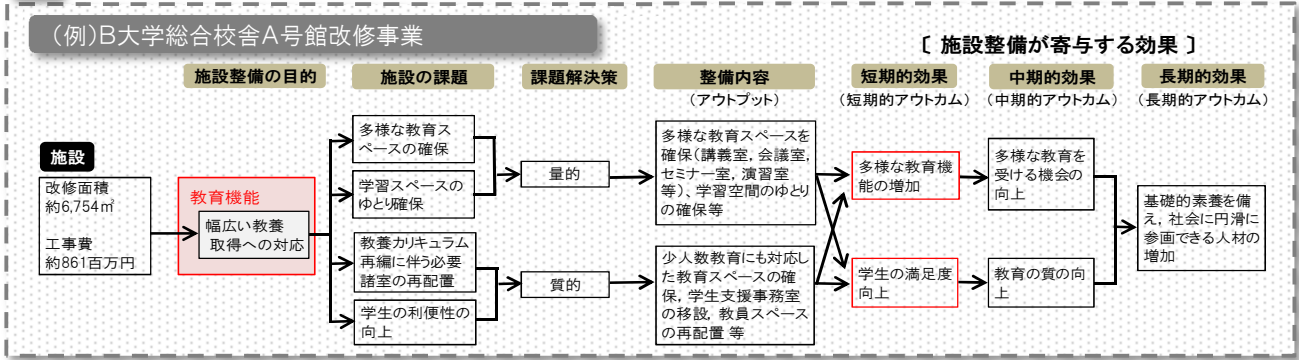


教育研究上の効果を見据えた施設整備の推進

- 国立大学法人等が個性や特色，社会的役割を十分に果たすためには，その基盤となる施設に整備に当たり，教育研究上の効果を最大限発揮させていくことが必要
- 施設整備の計画段階において，施設の課題に対応し，想定した教育研究上の効果を創出するための整備内容を検討し（P），PDCAサイクルによる取組を行い，整備後の検証結果を踏まえ（C），今後のキャンパス全体の施設整備方策や個々の施設計画に反映させていく（A）ことが重要

P 効果発現シナリオの作成例（教育機能の例）



D 整備内容の例（設計上の工夫も含む）



〔講義室〕 〔セミナー室〕

施設整備前【H18】⇒ 施設整備後【H19】

- ・多様な教育スペース、学習空間のゆとりの確保
講義室 【H18】1 → 【H19】5
セミナー室 【H18】0 → 【H19】5
- ・教養教育センターの設置
- ・教員スペースの再配置等

C 短期的効果の指標例（定期的に効果を測定）

施設整備前【H18】⇒ 施設整備後【H19】

- ・施設に対する満足度調査結果
(学部1・2年生「満足+やや満足」の割合)
【H19】35.8%→【H21】53.4%
- ・受験倍率(A研究科) 【H18】8.0 →【H21】10.2

A 効果分析・今後の計画へ反映

- ・整備内容と教育研究上の効果の関係性の分析
- ・検証結果を踏まえ、キャンパスの全体計画や個別施設の整備計画へ反映

施設整備と関連性の高い指標の例

教育機能の例					研究機能の例					地域貢献機能の例							
機能分類	施設整備の目的	課題解決策	整備結果(アウトプット)	短期的効果(アウトカム)	短期的効果(指標)	機能分類	施設整備の目的	課題解決策	整備結果(アウトプット)	短期的効果(アウトカム)	短期的効果(指標)	機能分類	施設整備の目的	課題解決策	整備結果(アウトプット)	短期的効果(アウトカム)	短期的効果(指標)
教育機能	幅広い教養取得への対応	質的 量的	・情報化講義室数 ・少人数双方向によるセミナー実施可能室数 ・自習室数・面積の増加	・学生の満足度の向上 ・学生の学習意欲の向上 ・受験生の増加	・学生の満足度(アンケート) ・授業への出席率(アンケート) ・受験倍率	研究機能	卓越した研究拠点の形成	質的 量的	・共同利用研究スペース数・面積 ・機能向上実験室数・面積 ・実験室数・面積の増加 ・研究者の滞在スペースの増加	・研究者の質的向上 ・研究者の研究意欲の向上 ・先進的な研究テーマの創出 ・学外からの注目度・認知度の向上	・外部資金の獲得件数・獲得額 ・学会賞等の受賞件数 ・学術誌への掲載件数 ・特許出願・取得件数 ・論文・著書の件数	地域貢献機能	地域、社会との共生	質的 量的	・地域課題を解決するための施設・スペースの数・面積 ・地域課題解決に寄与する施設スペース数・面積の増加	・地域の課題解決 ・知的資源の集約 ・地域性のある研究テーマの増加 ・自治体等との連携体制構築	・地域貢献度ランキング ・地域貢献プロジェクトの実施件数 ・地域特有の問題・課題に対する研究テーマ数